

## 部活動の地域移行について

### 1 部活動の意義

- 生徒のスポーツ・文化芸術等に親しむ機会を確保。自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養、自主性の育成にも寄与。
- 人間関係の構築、自己肯定感の向上、問題行動の抑制。信頼感・一体感の醸成。

#### 中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月）

##### 第 1 章 総則

##### 第 5 学校運営上の留意事項

##### 1 教育課程の改善と学校評価、教育課程外の活動との連携等

ウ 教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする。

### 2 部活動の課題

- 近年、特に持続可能性という面で厳しさを増しており、中学校生徒数の減少が加速するなど深刻な少子化が進行。
- 協議経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日も含めた部活動の指導が求められたりするなど、教師にとって大きな業務負担。
- 地域では、スポーツ団体や文化芸術団体、指導者等と学校との連携・協議が十分ではない。

### 3 部活動の目指す姿

- 少子化の中でも、将来にわたり子どもたちがスポーツや文化芸術に継続して親しむことができる機会を確保（学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上）
- スポーツは、自発的な参画を通して「楽しさ」「喜び」を感じることに本質。自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。

- 文化芸術は、豊かな人間性を涵養し、創造力と完成を育む。地域における文化芸術の発展を主体的に形成。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- 地域の持続可能で多様なスポーツ、文化芸術等に親しむ環境を一体的に整備し、子どもたちの多様な体験機会を確保。

#### 4 国における改革の方向性

- 休日の部活動から段階的に移行
- 令和5年度の開始から3年後の令和7年度を「改革推進期間」と位置付け  
(地域の実情等に応じ可能な限り早期の実現を目指す)
- 生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実
- 地域のスポーツ団体や文化芸術団体等と学校との連携・協働の推進
- 学校の働き方改革の推進に向けた教員の負担軽減

#### 5 本市の部活動と部員数

	美中 176人		東中 169人		備 考
	男子	女子	男子	女子	
野球	14	0	10	0	中体連終了後、合同チーム
バドミントン	—	—	15	5	
バレーボール	—	—	1	17	中体連終了後、男子は他市町との合同チーム
サッカー	—	—	15	0	
バスケットボール	13	7	13	12	中体連終了後、女子は合同チーム
ソフトテニス	10	12	—	—	
陸上	17	8	—	—	
美術	0	23	0	8	
吹奏楽	7	13	1	3	4月から合同
パソコン	10	0	16	3	
合 計	71	63	71	48	

※生徒数は、令和5年5月1日現在

## 6 本市の部活動の指導体制

### 【美唄中学校】

部活動	指導者体制
バスケットボール	平日 学校の顧問が指導 週休日・休日 顧問と地域の指導者が一緒に指導
ソフトテニス	平日 学校の顧問が指導 週休日・休日 顧問と地域の指導者が一緒に指導
野球	平日 学校の顧問が指導 週休日・休日 学校の顧問が指導
陸上	平日 顧問と地域の指導者が一緒に指導 週休日・休日 顧問と地域の指導者が一緒に指導
美術・パソコン	平日 学校の顧問が指導 週休日・休日 学校の顧問が指導
吹奏楽	平日 学校の顧問が指導 週休日・休日 学校の顧問が指導

### 【東中学校】

部活動	指導者体制
野球	平日 顧問と保護者（外部コーチ登録）が一緒に指導 ※保護者（外部コーチ登録）は週1～2日程度 18:00以降 保護者（外部コーチ登録）は中体連までの指導。 週休日・休日 顧問と保護者(外部コーチ登録)が一緒に指導
バドミントン	平日 学校の顧問が指導 週休日・休日 学校の顧問が指導
バレーボール	平日 学校の顧問が指導 週休日・休日 学校の顧問が指導
サッカー	平日 学校の顧問が指導 週休日・休日 学校の顧問が指導
バスケットボール	平日 学校の顧問が指導 週休日・休日 学校の顧問が指導
美術・パソコン	平日 学校の顧問が指導 週休日・休日 基本活動なし
吹奏楽	平日 学校の顧問が指導 週休日・休日 学校の顧問が指導

## 7 地域移行に向けた課題

### ■実施形態の検討・受け皿団体の整備充実

- ・多様な生徒のニーズに応じたスポーツや文化芸術に親しむ機会を確保することが必要
- ・地域の様々な関係者が連続して検討していくことが大切

### ■指導者の質・量の確保

- ・生徒にとって相応しい環境の整備のため、専門性や資質能力を有する指導者の確保が必要
- ・地域クラブ活動での指導を希望する教師等が、円滑に兼職兼業の許可を得られるよう規定や運用の改善
- ・必要に応じて ICT を活用した遠隔指導ができる体制を整備

### ■活動場所の確保

- ・公共施設や民間の施設だけでは足りない地域も想定される。
- ・学校施設の活用促進や教員の負担にならないよう、利用ルールの改善や団体間での調整が必要
- ・低廉な利用料を認めるなど、負担軽減と使用しやすい環境を整える

### ■大会の在り方

- ・学校単位だけではなく、地域のスポーツ団体の大会参加の機会が確保されることが必要

### ■会費の適切な設定と保護者等の負担軽減

- ・地域スポーツ団体の会費が保護者にとって大きな負担とならないよう、自治体や国の支援が必要
- ・企業等が有する施設の利用や設備用具等の寄附等の支援を受けられる体制整備や企業版ふるさと納税の活用等

### ■生徒の移動手段の確保

- ・活動場所が遠方となり適切な公共交通機関がない場合は、バスやタクシーの運行などにより生徒の移動手段の確保が必要

## 8 地域移行に向けて

少子化による部活動数の減少傾向や、教員の業務負担を考慮すると、このままでは、いずれ部活動が立ちゆかなくなる現状を認識し、持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要である。

このため、生徒・保護者等のニーズを把握するためアンケート等の実施のほか、

先進的に取り組んでいる自治体や他の自治体の取組状況を把握しながら、指導者や受け皿となる団体の確保について、市の総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会、市内の文科系サークル団体と協議を進めるなど、部活動が持続可能なものとなるよう検討を行う。